



福井市下水道事業経営戦略フォローアップ（令和6年度）

令和7年10月 福井市上下水道局



経営戦略（計画期間：平成29～令和8年度）に掲げた事業計画と経営基盤強化の取組について、令和6年度末時点における進捗状況を検証しました。

1 事業計画の進捗状況

【普及拡大事業】

未普及地区解消に向けた公共下水道の整備 ※

- ・整備地区：東藤島地区、東郷地区、一乗地区、麻生津地区 など
- ・整備延長：約11.4km
- ・人口普及率：99.5%（昨年度から0.4ポイント増）

※令和6年度をもって概成

【改築事業】

ストックマネジメント計画に基づく、管渠・施設の老朽化対策

○管渠

- ・管更生延長：約0.6km
- ・改築延長：約0.5km

○施設

- ・清水東部環境センター監視設備更新事業 等

【耐震化事業】

耐震化の推進

- ・詳細診断（重要な幹線等）
- ・耐震補強詳細設計業務（日野川浄化センター管理棟）

【大規模改築事業】

- ・足羽ポンプ場更新事業：ポンプ場、流入幹線建設に向けた土木工事



<足羽ポンプ場 完成イメージ>

【雨水対策事業】

- ・耐水化事業：耐水化工事（日野川浄化センター、境浄化センター、清水東部環境センター）
- ・浸水対策事業：雨水出水浸水想定区域図の作成
足羽ポンプ場更新工事に伴う雨水増補管整備

2 経営基盤強化の取組

【事業の効率化】

○不明水対策

- ・管更生延長：約 1.1km

○消化ガス発電

- ・令和 6 年度発電量：約 225 万 kW
- ・二酸化炭素削減量：約 1,082t



<消化ガス発電設備>

【収入の確保】

- ・過年度使用料収納率 99.9%
- ・交付金・補助金の要望活動

【下水道事業の見える化】

上下水道展の開催
(約 1,300 人来場)



上下水道のミカタの発行
(年 3 回 全戸配布)



【組織の活性化・人材育成】

研修：7回

(危機管理、企業会計、事業計画、排水ポンプ車操作等)

訓練：BCP 訓練 (地震・風水害)



<BCP 訓練 (風水害)>



<研修 (企業会計)>

マンホール・ワン・コンテストの実施



<令和 6 年度最優秀作品>



マンホールカードの配布
(約 8,800 枚配布)

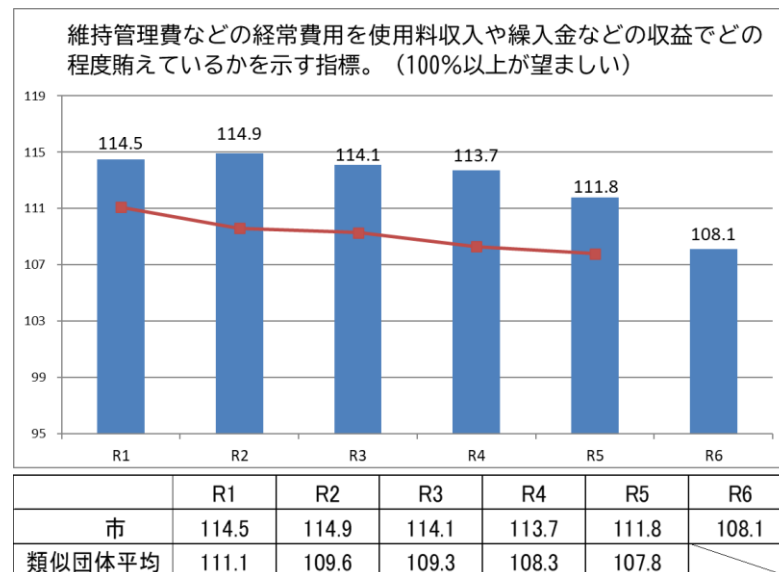


「落ちない・スベらない・サクラ咲く」
合格まんほ～るカード事業 (800 枚配布)

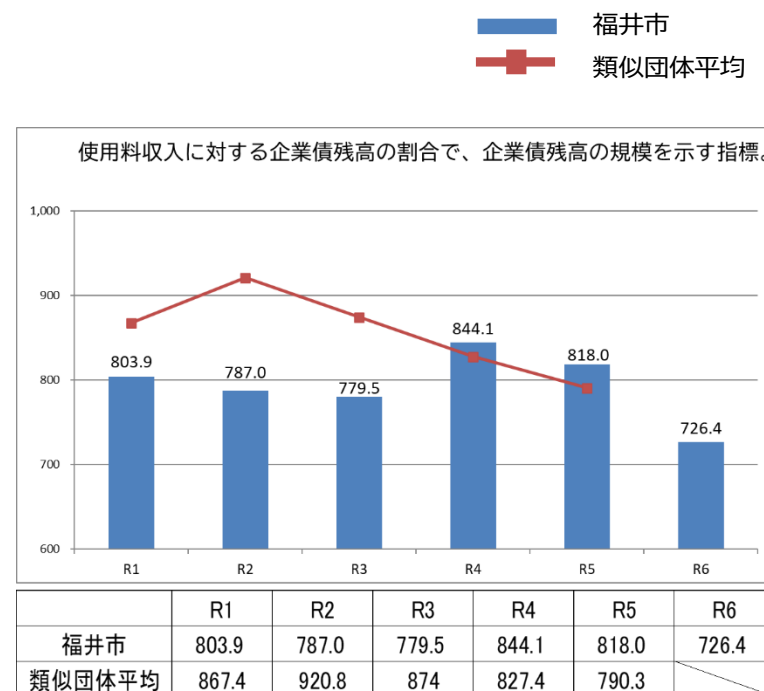
3 経営指標

【経営の健全性・効率性】

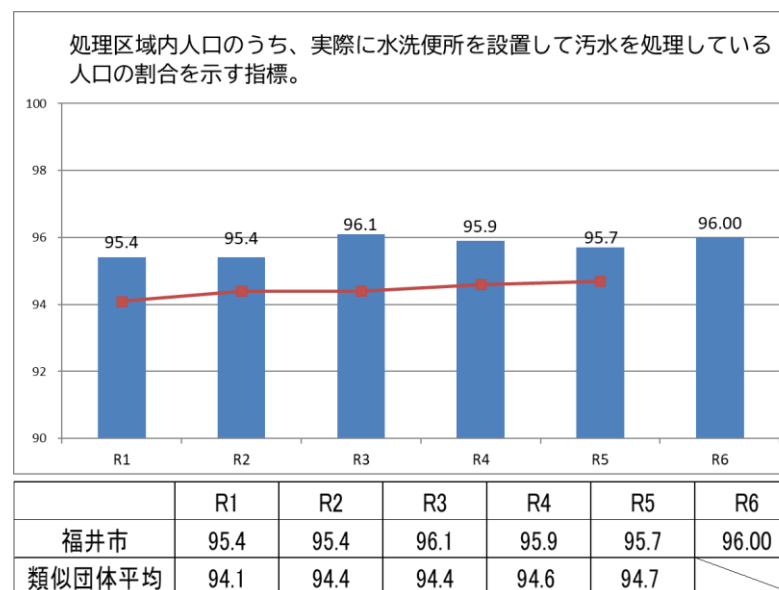
① 経常収支比率(%)



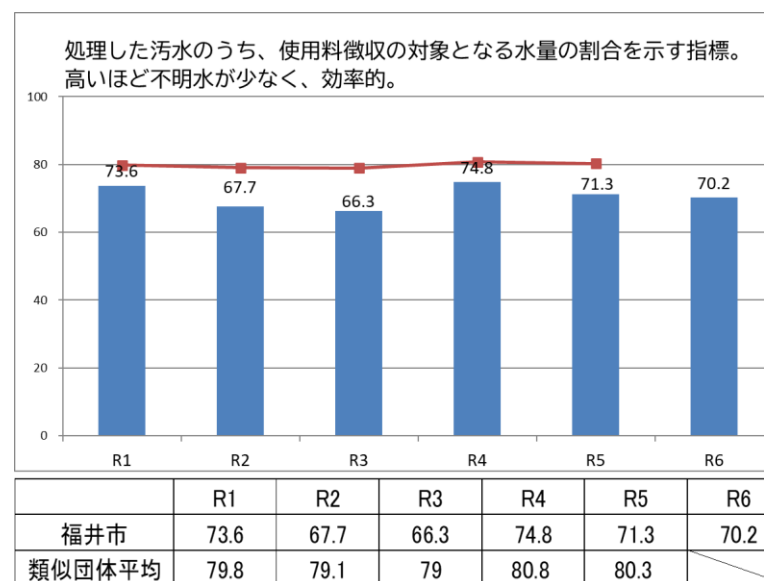
② 企業債残高対事業規模比率(%)



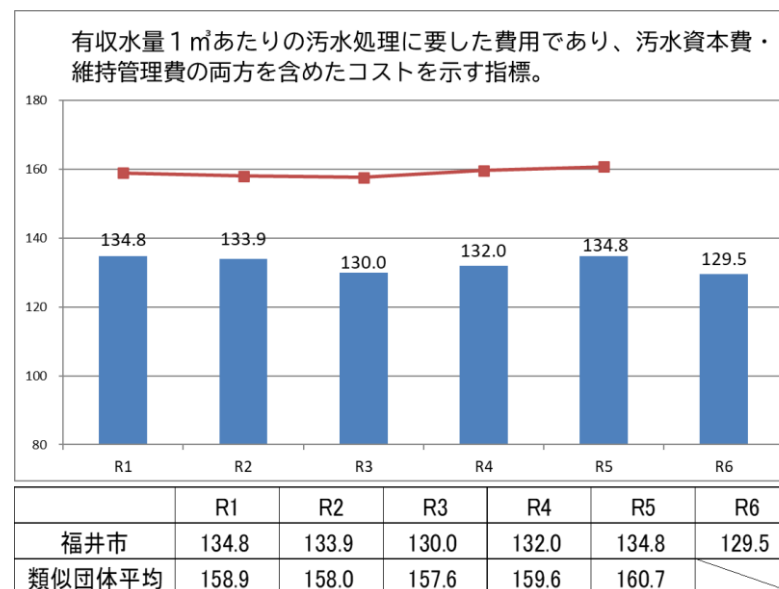
③ 水洗化率(%)



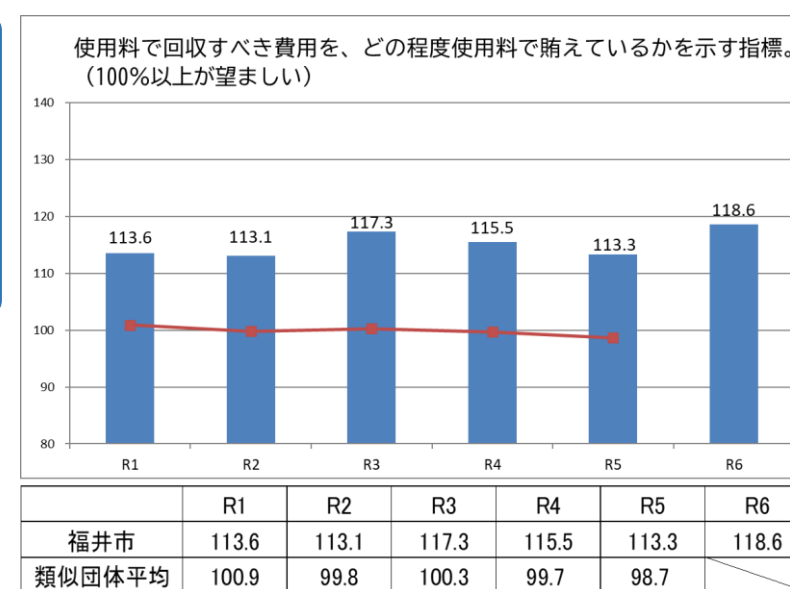
④ 有収率(%)



⑤ 汚水処理原価(円)



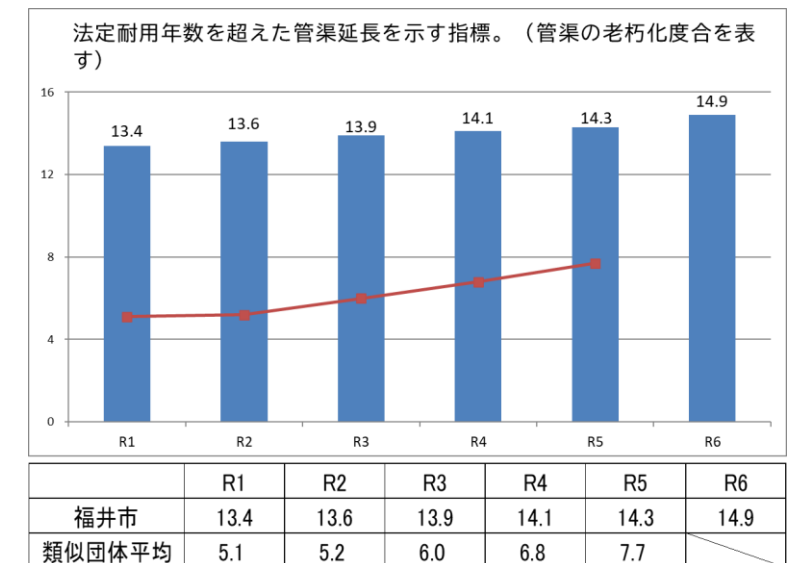
⑥ 経費回収率(%)



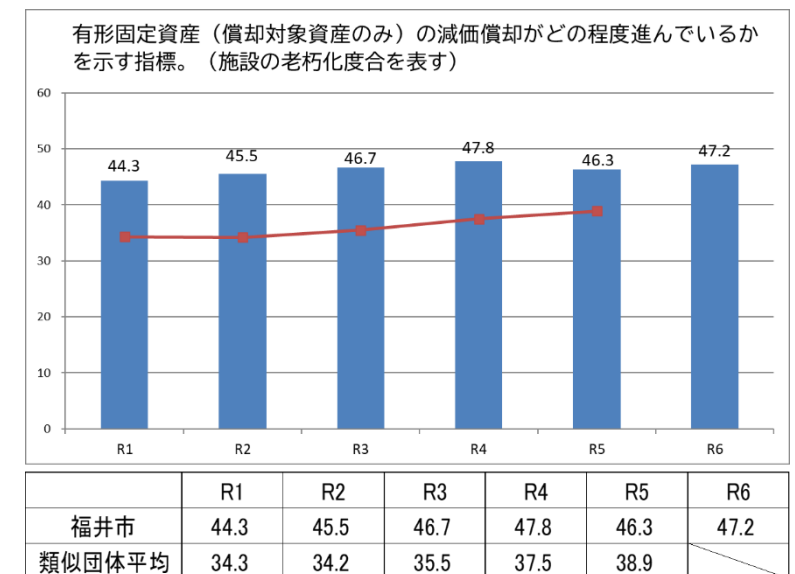
※数値は全て公共下水道のもの
※類似団体区分：処理区域内人口 10万人以上（政令市除く）
区域内人口密度 50人/ha未満

【老朽化の状況】

⑦ 管渠老朽化率(%)



⑧ 有形固定資産減価償却率(%)



【指標の分析】

- ・「①経常収支比率」、「⑥経費回収率」については100%を上回り、かつ、類似団体より高い水準で推移しているため、健全な経営状態であるといえます。
- ・「⑦管渠老朽化率」、「⑧有形固定資産減価償却率」は類似団体平均を上回っており、他自治体と比べ、老朽化が進んでいる状況にあります。

【決算状況】 ※金額は百万円単位で四捨五入 () 内の数値は対前年度増減率

収益的収支：収益面では、他会計負担金の増等により、営業収益は 68 億 5,000 万円（+0.9%）となりました。また、営業外収益は 27 億 800 万円（+0.1%）、特別利益は 300 万円（△18.2%）となり、これらを合わせた総収益は 95 億 6,100 万円（+0.7%）となりました。

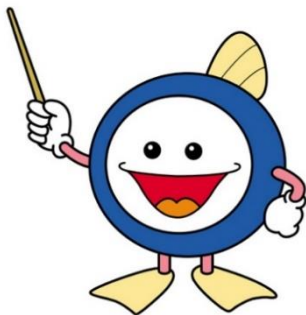
費用面では、減価償却費の増等により、営業費用は 80 億 7,300 万円（+4.1%）となりました。また、営業外費用は企業債利息の上昇等により 8 億 3,000 万円（+1.5%）となり、これらを合わせた総費用は 89 億 300 万円（+3.8%）となりました。

この結果、当期純利益は 6 億 5,800 万円（△28.1%）となりました。

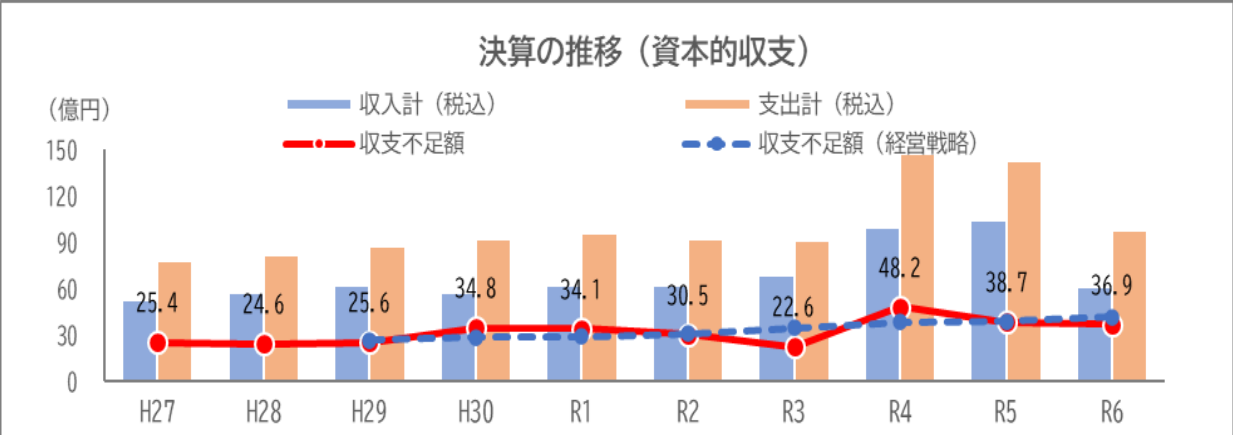
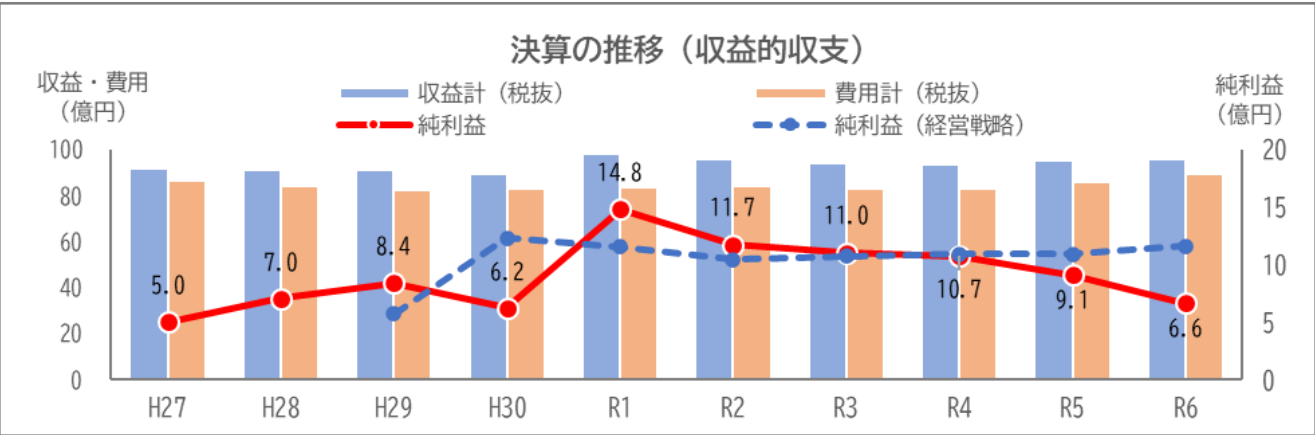
資本的収支：収入面は、企業債や補助金等の減少により、60 億 9,800 万円（△41.5%）となりました。

支出面では、建設改良費等の減少により、資本的支出額は 97 億 8,900 万円（△31.5%）となりました。

この結果、資本的収支の不足額は 36 億 9,100 万円となり、留保資金や収益的収支で生じた利益等で補填しています。



<下水道マスコットキャラクター「スイスイ」>



【経営戦略との比較】

【単位：億円】

	収益的収支			資本的収支		
	収益	費用	純利益	収入	支出	不足額
経営戦略	94.1	82.5	11.6	65.4	107.4	42.0
R 6 決算	95.6	89.0	6.6	61.0	97.9	36.9

- ・収益的収支については、維持管理費や減価償却費の増加により、純利益が経営戦略の見込値よりも下振れする結果となりました。
- ・資本的収支については、翌年度への工事の繰越等の影響により、収入・支出ともに経営戦略で見込んでいた数値を下回った結果、資本的収支の不足額も、経営戦略の見込値を下回っています。